

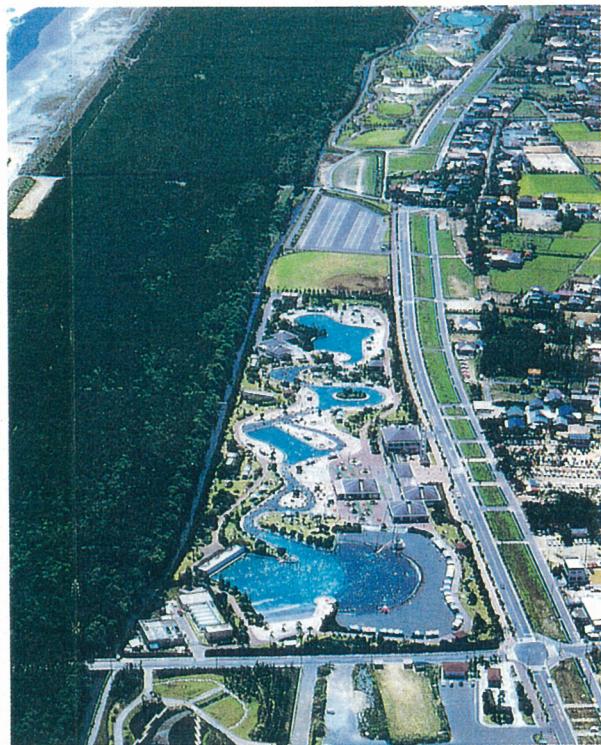
海浜公園/九十九里レクリエーション都市

建設省都市局公園緑地課/企画調査係長 支倉 純

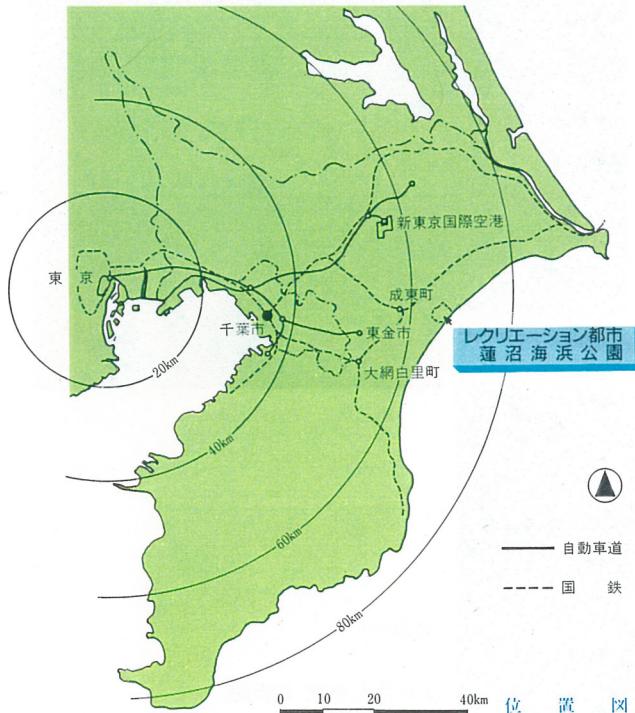
レクリエーション都市は、増大するレクリエーション需要に対処するために、大規模な都市計画公園を核として、多様なレクリエーション施設を整備するものであり、各種のサービス施設を民間の開発エネルギーを活用しつつ整備するとともに、総合的な都市計画に基づく土地利用計画を定め、緑の確保を図りつつ、道路、河川、海岸、下水道等の公共投資を重点的に行い、さらに、地元の農林、水産、商工業等とレクリエーションを結合し、地域の開発、活性化に寄与するものである。現在、全国で5箇所が事業中であり、このうち、南予レクリエーション都市(愛媛県)、熊野灘レクリエーション都市(三重県)九十九里レクリエーション都市(千葉県)の3ヶ所が海洋性レクリエーションの拠点として整備されている。

九十九里レクリエーション都市は、昭和46年度に事業着手された。この中核となる蓮沼海浜公園は、千葉県の太平洋に面した九十九里浜のほぼ中央にあり、東京都心から約70km、千葉市から約40km、新東京国際空港から約25kmの位置にある。

現在、展望塔、ウォーターガーデン(大規模レジャープール)テニスガーデン、ガーデンハウス(宿泊施設—第3セクターが整備)、体育館、広場等が整備され、年間約35万人(有料施設の方)に利用されている。



蓮沼海浜公園



昭和44年5月30日…新全国総合開発計画閣議決定

昭和45年12月10日…「レクリエーション都市整備要綱」(建設省)

昭和46年12月28日…九十九里レクリエーション都市蓮沼海浜公園
(170.1ha)の都市計画決定

昭和49年11月12日…都市計画道路蓮沼公園線(幅員22m~28m、
延長4.3km)の都市計画決定

昭和50年4月2日…千葉県レクリエーション都市開発株式会社設立

昭和50年7月1日…ウォーターガーデン開園

昭和52年11月3日…ガーデンハウス(宿泊施設)開設

昭和50年度~56年度…テニスコート、水の広場、野球場、少年スポーツ広場等の整備、開園

昭和57年度~61年度…少年スポーツ広場、展望塔、蓮池等の整備、開園

昭和62年度~65年度…いこいの広場等の完成予定